



報道関係者 各位

NPO法人 放送批評懇談会

発表！2025年5月度ギャラクシー賞月間賞

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで63年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2026年6月上旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

Facebook



X (旧Twitter)



Instagram



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会

MAIL : kondankai@houkon.jpHP : <https://www.houkon.jp/>



2025年5月度ギャラクシー賞月間賞

テレメンタリー2025「郷には、従えない。～土葬墓地と国際化～」

5月3日放送 大分朝日放送

火葬が主流の日本における、土葬墓地問題に焦点をあてた。日本永住を決め、自分たちの入る土葬墓地を求めるムスリムの人たちと、墓地整備予定地の住民の葛藤が描かれている。少子高齢化が進み外国人労働者が増える日本で見えてくる課題のひとつだろう。多文化共生が問われる番組。

NNNドキュメント'25「パンプキン爆弾 原爆と49発の極秘投下訓練」

5月11日放送 広島テレビ放送

終戦直前に日本中が「模擬原爆」訓練場になっていたということ自体をほとんど知らなかったなか、実際に体験した人の話や米国側のパイロットの情報、被害状況などから浮かび上がる事実が衝撃的だった。このような情報を掘り起こし、番組化して伝えることの意義を改めて感じた。

ドキュメンタリー「解放区」「罪と償い～事件を裁いた先に～」

5月18日放送 北海道放送

6月に拘禁刑が導入され、受刑者には「罰」ではなく「償い」を科し、特性に応じた更生プログラムが実施される。再犯率約5割の現実のなかで、女子高生コンクリート詰め殺人事件の準主犯格の一人が孤独死していた事実には驚いた。浦河町で続く「当事者研究」を参考に、受刑者への個別の対応を模索する刑務所の取り組みに期待する。

ドラマ10「しあわせは食べて寝て待て」

4月1日～5月27日放送 日本放送協会 NHKエンタープライズ

膠原病で仕事を辞めざるを得なくなった主人公のさとこ（桜井ユキ）が、週4日のパート勤めに見合う暮らしをするため団地に引っ越し、そこに暮らす人たちの温かさや薬膳に出会って、新たな道を見つけていくドラマ。食べることで命をつなぎ、その結果これまで見えて来なかったものが現れるような瞬間を丁寧に描いて、じんわりと温かい。

★詳細は月刊誌「GALAC」2025年8月号に掲載します